

VANTRUE

Pilot 2 **P2**

取扱説明書 **V1.0**



vantrue.com

truly driven.



More Info



Facebook@Vantrve



Instagram@Vantrve



ID: @860fnbxk

目次

01	パッケージ内容	1
02	機器の紹介	3
03	取付ガイド	8
04	機能紹介	17
05	重要な機能	32
06	仕様	48
07	アフターサービス	49
08	よくある質問	50
09	安全情報	53

ご注意:

- 初めてご使用になる前に、製品マニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ドライブレコーダーは、電源に接続した状態で正常に動作します。
- 安全運転のため、走行中に本機を操作したり、スマートフォンで映像を視聴したりしないでください。
- 本製品はマイクロSDカードを使用して動作します。マイクロSDカードが正常に機能し、本機と互換性があることをご確認ください。
- ドライブレコーダーを無断で分解・修理しないでください。故障が発生した場合は、VANTRUE公式サポートに速やかにお問い合わせください。
- ドライブレコーダーは、運転視界を妨げる位置に取り付けしないでください。
- 使用時は高温・多湿の環境を避けてください。機器の正常な動作を確保するためです。
- より快適にご使用いただくため、製品のファームウェアは随時更新されます。必要に応じて最新バージョンをダウンロードし、最新機能をご活用ください。
- ドライブレコーダーは、乗員の真正面に取り付けしないでください。本体が外れることによる安全上のリスクを避けるためです。
- 関連する法令を遵守した上で、本製品を適切にご使用ください。
- 製品認証情報の照会先: 「システム設定」→「認証情報」にて、TELECおよびその他の認証情報を確認できます。

1. パッケージ内容



① P2本体



② 本体の台座



③ フロント/車内
カメラ本体



④ フロント/車内カ
メラのケーブル



⑤ リアカメラ



⑥ リアカメラの
ケーブル



⑦ シガーソケット
ケーブル



⑧ 静電気シート



⑨ 内張りはがし



⑩ クリーニング
クロス



⑪ 両面テープ



⑫ ケーブルクリ
ップ



⑬ マジックテ
ープ

オプション品



⑭ サーマルカメラ



⑮ サーマルカメラのケーブル



⑯ 六角レンチ



⑰ ドライバー



⑱ ナンバープレート
ブラケット

セット内容・付属品リストの説明

仕様1 (本体+フロント/車内カメラ+リアカメラ+サーマルカメラ) ①~⑱の全付属品を含む

仕様2 (本体+フロント/車内カメラ+リアカメラ)

①~⑬の付属品を含む

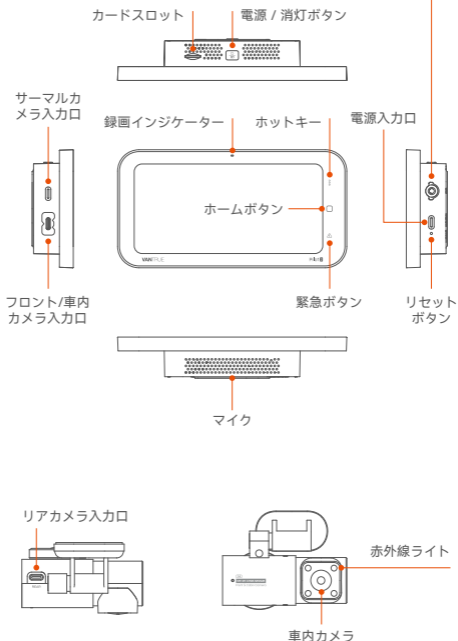
仕様3 (本体+サーマルカメラ) 本体とサーモグラフィカメラの付属品を含む。

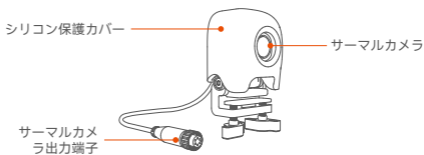
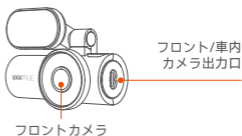
フロント/車内カメラ、リアカメラ、およびそれらに対応するケーブル類は含まれない。

2. 機器の紹介

AUXオーディオ接続口

※注: AUXオーディオノイズリダクションアダプターはユーザー自身でご購入いただく必要があります。





2.1 アイコン説明



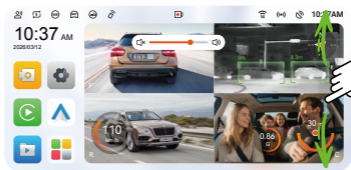
2.2 画面操作ガイド



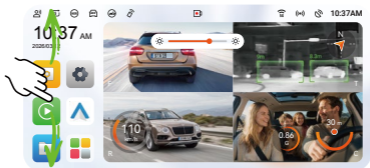
左右にスワイプすると、画面表示を切り替えることができます。また、表示中の画面をタップすると、該当画面が全画面表示になります。



トップから下に引き下げると、ホットキー画面が表示されます。



画面の右側を上下にスワイプすると、音量を上げ下げできます。



画面の左側を上下にスワイプすると、画面の明るさを上げ下げできます。

2.3 ステータスバーを下ろした際のアイコン機能説明



- 消灯: ショートカット操作で本体画面の表示オフできます。
- Wi-Fi: 本体のWi-Fi機能をワンタッチでオン / オフできます。
- HUD: オンにすると、画面上に走行速度、加速度、標高、コンパスがリアルタイム表示されます。
- 雨・霧モード: Thermal Smart機能をオンにした状態で雨・霧モードを有効にすると、雨や霧の環境下で画質が最適化され、ナンバープレートや路況の認識性能が向上します。

※注意: 雨・霧モードを有効にすると、画面の動作がやや遅くなる場合があります。晴天時や夜間の霧がない状況では無効にすることをお勧めします。

雨・霧モード有効時に録画画面上で一瞬のカクつきが見られる場合がありますが、これはカメラ切替時のシャッター動作による正常な現象であり、機器の故障ではありません。

- 音声コマンド: オンにすると音声コントロール機能が有効になります。現時点では日本語 / 中国語 / 英語 / ロシア語 / フランス語に対応しています。サポートされている音声コマンドを確認するには、「システム設定」→「音声コマンド内容」をご覧ください。
- GPS: GPS機能をワンタッチでオン / オフできます。

- 駐車監視モード：衝撃検知モードが有効な場合、ショートカットキーですばやく駐車監視モードに切り替えることができます。
- フォーマット機能：マイクロSDカードのクイックフォーマットに対応しています。実行する前に、大切なファイルのバックアップを取ってください。

3. 取付ガイド

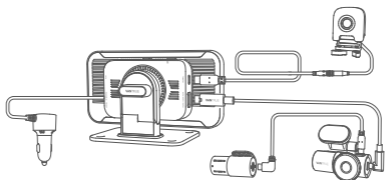
3.1 取付上の注意事項

1) 共通の取付準備と基本手順（ドライブレコーダー本体 / カメラ）

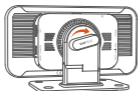
- **表面の清掃**：不織布などで本体 / カメラの取付位置を拭き、油分やほこりを取り除く。
- **静電保護フィルムを貼る**：フロントカメラの取付位置に静電保護フィルムを先に貼る（固定力を高め、糊跡を防ぐため）。
- **ケーブル収納**：シガー充電器とリアカメラの取付後、付属のケーブルクリップを使ってシガーケーブルとリアカメラケーブルをまとめる。
- **初回使用時の設定**：ドライブレコーダーを初めて使用する際は、メモリーカードをフォーマットすることを推奨する。録画の異常を減らすことができる。
- **取付説明**：本体およびカメラを取り付ける際は、運転者の視界を遮らないようにし、製品を確実に固定すること。

3.2 取付手順

3.2.1 本体及びカメラの取付手順



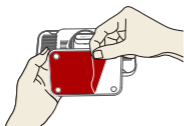
配線案内図



- ① ブラケットを取り付ける



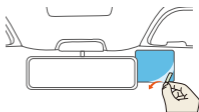
- ② メモリーカードを差し込む
(注: micro SDカードはオプション品です。)



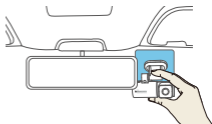
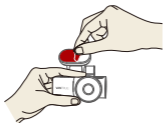
- ③ 両面テープの保護フィルムを剥がす



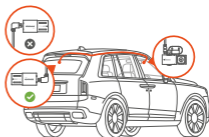
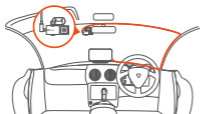
- ④ 本体をダッシュボードに取り付ける



⑤ 静電気シートをガラスに貼り付ける



⑥ フロントカメラを静電気シートに貼り付ける



⑦ フロントカメラを
本体と接続します。

⑧ フロントカメラをリ
アカメラと接続しま
す。



⑨ シガーソケットケ
ーブルを取り付ける

3.3 サーマルカメラの取り付け（オプション）

3.3.1 取付上の注意事項

- **取付位置の確認**：可能な限りボンネット上への取り付けを推奨する。取り付け前に、ボンネットと水切りパネルの間のスペースを確認する。
 - 25mm以上：標準の手締めネジを使用する（詳細は3.3.2を参照）。
 - 10～25mm：ジミネジ（極小ネジ）に交換する（詳細は3.3.2を参照）。
 - 10mm未満：ナンバープレートブラケットへの取り付けを推奨する（詳細は3.3.3を参照）。
- **取り付け位置の確認（ワイパー）**：サーマルカメラを取り付ける前に、ワイパーを作動させ、取り付け位置がワイパーの正常な動作に影響しないことを確認する。
- **ケーブル配線の余長確保**：サーマルカメラのケーブルを配線する際は、ホストに確実に接続できるよう、十分な長さを確保すること。ケーブルはマジックテープでまとめる。
- **サーマルカメラの視野確認**：サーマルカメラの位置を固定した後、電源を入れて映像を確認する。ボンネットが映像内に映り込まないようにすること。映り込むとアルゴリズムによる誤報の原因となる。
- **カメラ位置の調整 / 固定**：六角レンチ / ドライバーを使ってネジを緩め、カメラの向きを調整してから固定する。
- **その他の注意事項**
 - サーマルカメラはガラスを透過しません。車内には取り付けないでください。
 - 取り付け時、カメラの前に障害物がないことを確認する。

- 清掃時は、高圧洗浄機でサーマルカメラを直接洗わないでください。
- サーマルカメラには焼損防止保護機能が備わっていますが、カメラを長時間太陽や300°C以上の熱源に向けたままにしないでください。
- サーマルカメラのケーブルを配線する際は、エンジンなどの高温発熱部品から離してください。

3.3.2 サーマルカメラをボンネットへの取り付け（方法1）



① 水切りパネルからボンネットまでの高さを確認する



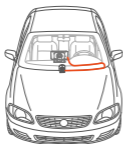
方法1: 水切りパネルからボンネットまでの高さが25mm以上 → 手締めネジを使用して取り付ける



方法2: スプラッシュガードからボンネットまでの高さは10~25 mmです。取り付けには止めねじを使用してください。

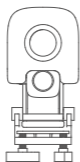


- ② 六角レンチ工具を使用してサーマルカメラを固定する

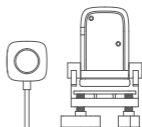


- ③ サーマルカメラと本体を接続しケーブルを配線する
(注: サーマルカメラはボンネットの中央位置に取り付けてください。)

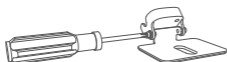
3.3.3 サーマルカメラをナンバープレート上方に取り付ける (方式二)



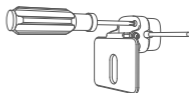
- ① シリコンカバーを取り外す



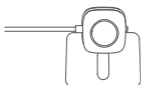
- ② カメラをブラケットから取り外す



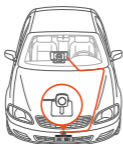
- ③ ブラケットを取り付ける



- ④ カメラを凹みに貼り付け、固定する



- ⑤ カメラの向きを確認する: サーマルカメラのロゴが上向きになるようにする



- ⑥ サーマルカメラを取り付け、ケーブルを配線する
(注: サーマルカメラはナンバープレートの上中央位置に取り付けてください)

注意事項:

- 取り付けの際、ナンバープレートを遮らないようにしてください。
- 取り付け完了後、電源を入れて熱成像レンズの映像視野を確認してください。角度調整が必要な場合は、両側のネジを緩めて微調整し、視野に問題がなければネジを締めてレンズを固定し、使用中のぐらつきを防いでください。

3.4 APPのインストール

下記のAPP用QRコードをスキャンしてVantrue APPをダウンロード・インストールし、APPの案内に従ってドライブレコーダーとAPPを接続してください。APPの詳細な機能については、電子版マニュアルをご覧ください。



3.5 Vantrue Playerのインストール (Windows/Mac)

PC用プレイヤーは、ビデオ再生、GPSトラッキング、速度表示などの機能をサポートしており、より高品質なビデオ体験をユーザーに提供します。詳細な操作については、完全版の電子マニュアルをご参照ください。

- **Windowsユーザー:** Vantrue公式サイト <https://www.vantrue.com/pages/vantrue-app-player> からVantrue Playerをダウンロードできます。
- **Macユーザー:** Apple App Storeで「Vantrue Player」を検索してダウンロード・ご利用ください。



4. 機能紹介

録画設定、システム設定、ファイル、Thermal Smart、Apple CarPlay、Android Auto。

4.1 録画設定

- **解像度:** フロントカメラ、車内カメラ、リアカメラの解像度を設定できます。
- **液晶反転機能:** フロント+車内、サーマルカメラ、リアの各カメラでオン/オフを設定できます。デフォルトはすべてオフです。
- **Gセンサー:** 前後、左右、上下の衝突感度を設定できます。オフ/やや弱/低/標準/やや強/強から選択可能。デフォルトは標準です。
- **駐車監視モード:** 衝撃検知モードのオン/オフ、衝撃感度、起動/終了方法、監視カメラ設定、駐車低照度暗視、クイックスタート、監視時間、ACC遅延を設定できます。詳細は5.3節をご参照ください。
- **スタンプ設定:** 日時、ブランド・モデル、ナンバープレート、車速、GPS緯度経度のウォーターマーク表示を設定できます。デフォルトはオン。オフにも設定可能です。
- **HDR:** デフォルトはオン。フロント、車内、リアそれぞれでオン/オフを設定できます。
- **HDRタイマー:** デフォルトはオフ。タイマーによるオン/オフを設定できます。
- **PlatePix™タイマー:** デフォルトはオフ。タイマーによるオン/オフを設定できます。
- **GPS設定:** GPS自動更新（デフォルトオン）、GPSの速度単位設定、GPS情報表示。
- **鏡像表示:** デフォルトはオン。オフに設定可能です。

- **ループ録画:** デフォルトは1分。オフ / 1分 / 3分 / 5分から選択できます。
- **タイムラプス撮影:** デフォルトはオフ。1FPS / 5FPS / 10FPSから選択してオンにできます。
- **赤外線ライト:** デフォルトは自動。オン / オフも設定可能です。
- **画質:** デフォルトは標準。PlatePix™も選択可能です。PlatePix™をオンにするとナンバープレートの認識精度が向上します。※注:PlatePix機能はフロントカメラのみ有効です。
- **録画音声:** 初期設定はオンになっており、オフに切り替えることができます。
- **音声ノイズの軽減:** デフォルトはオン。オフに設定可能です。
- **録画インジケータランプ:** デフォルトはオン。オフに設定可能です。
- **車両登録番号設定:** デフォルトはオフ。オンに設定可能です。
- **走行距離:** デフォルトはオン。オフに設定可能です。

4.2 システム設定

- **Wi-Fi:** 初期設定はオン。10分後にオフにする設定、またはオフにすることも可能。Wi-Fiモードの切り替え、Wi-Fi情報の確認ができます。
- **通知音:** 状況に応じて、ドライブレコーダーには5種類の操作音が設定されています。起動・終了音、ボタン音、ロック録画の音、フォーマットの音、異常録画停止音です。ユーザーのニーズに応じてオン/オフを切り替えられます。
- **フォーマット:** メモリーカード内の全データをフォーマットします。
- **音声コントロール機能:** 感度の初期設定は「標準」。オンにすると音声コマンドを認識できます。感度は「低」「標準」「高」「オフ」から選択可能です。
- **音声コマンド一覧:** 音声認識コマンドの一覧です。ユーザーはさまざまなコマンドでドライブレコーダーを操作できます。
- **認証情報:** 本機の認証情報を表示します。
- **システム情報:** ファームウェアのバージョンおよび公式サイト情報を表示します。
- **デフォルト設定:** システム設定を初期状態に戻します。
- **言語:** 英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語、ロシア語、日本語、ポーランド語、トルコ語、チェコ語から選択可能です。
- **スクリーンセーバー:** 初期設定はオフ。30秒、1分、3分から選択できます。
- **フォーマットアラーム:** 初期設定はオフ。メモリーカードのフォーマットを忘れないように、通知間隔を設定できます。15日後または1カ月後から選択。

設定した日を起点として15日または1カ月後に通知されます。通知時には「確定」でフォーマット実行、「次回」でスキップ（選択すると再度通知までの期間がリセットされます）を選べます。

- **日付/時刻:** 日付と時刻の設定方法は「手動」または「GPS自動更新」の2通り。日付形式、タイムゾーン、時刻形式（初期設定は24時間制）、夏時間/冬時間の自動切り替え（初期設定はオフ）を設定できます。
- **輝度:** 初期設定は「自動」。周囲の明るさに応じてディスプレイの輝度を自動調整します。
- **周波数:** 国によって光源周波数が異なります。録画への影響を避けるため、地域に合わせて50HZまたは60HZを選択してください。
- **デバイス音量:** 初期設定は40%。必要に応じて調整できます。

4.3 ファイル閲覧

ここでは、ドライブレコーダーが記録した動画ファイルや写真ファイルを表示できます。

- **通常動画**: このフォルダーには、ループ録画画像 (T) と通常動画 (N) が保存されます。
命名形式: 20300128_140633_00008_N_A.MP4
- **緊急動画**: このフォルダーには、緊急録画ファイル (E) が保存されます。
命名形式: 20300128_140633_00008_E_A.MP4
- **駐車動画**: このフォルダーには、駐車監視録画ファイル (P) が個別に保存されます。
命名形式: 20300128_140633_00007_P_A.MP4
- **写真**: 写真ファイルはこのフォルダーに保存されます。
- **すべて**: すべてのファイルを表示できます。

※ファイル命名規則: 年月日 + 時分秒 + 通し番号 + ファイルタイプ + カメラチャンネル (前方: A、車内: B、後方: C、サーマルカメラ: D)

4.4 Thermal Smart

スマート熱成像機能は、夜間や雨・霧などの低視認性シーンに適しており、車両、歩行者、非自転車、動物などの対象物を高精度に識別できます。AIマーク表示により安全な走行をサポートし、夜間走行に全方位の防护を提供します。

「Thermal Smart」機能は初期設定でオン、オフにすることも可能です。



(1) スマート熱成像設定

以下の検出機能に対応しており、必要に応じて自由にオン/オフを設定できます。

- **前方車両衝撃検知（初期設定：オン）**
 - オン/オフ：オフにすると、車両認識アルゴリズムが実行されなくなり、車両認識枠が表示されなくなります。
 - 警告音：初期設定はオフ。レベル1～5まで設定可能です。
 - 感度：初期設定は「中」。低・中・高から調整できます。
 - 作動速度：初期設定は時速60 km（10～120 kmの範囲で調整可能）。
 - 状態表示：

- 通常の車両認識：緑色の認識枠を表示
- 衝突リスクを検出：赤色の認識枠を表示
- 認識距離：最大認識距離は100メートル

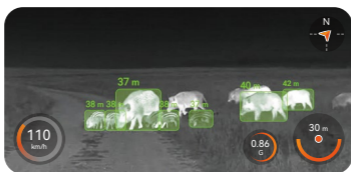


- 歩行者検出（初期設定：オフ）
 - オン/オフ：歩行者検出機能を制御します。オフにすると歩行者認識アルゴリズムが実行されず、歩行者認識枠も表示されません。
 - 警告音：初期設定はレベル2。レベル1～5まで設定可能です。
 - 感度：初期設定は「中」。低・中・高から調整できます。
 - 作動速度：
 - 最小初期設定：時速10 km（10～50 kmの範囲で調整可能）
 - 最大初期設定：時速60 km（50～120 kmの範囲で調整可能）
 - 認識範囲：歩行者および自転車・バイク乗りを含むアルゴリズム
 - 状態認識：通常認識は緑色枠、衝突リスクがある場合はオレンジ色枠を表示
 - 認識距離：70メートル



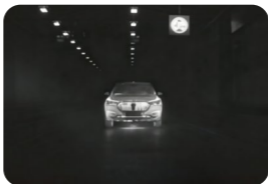
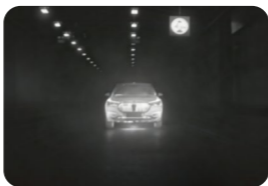
- **動物検出（初期設定：オフ）**

- オン/オフ：動物検出機能を制御します。オフにすると動物認識アルゴリズムが実行されず、動物認識枠も表示されません。
- 警告音：初期設定はレベル2。レベル1～5まで設定可能です。
- 感度：初期設定は「中」。低・中・高から調整できます。
- 作動速度：
 - 最小初期設定：時速10 km（10～50 kmの範囲で調整可能）
 - 最大初期設定：時速60 km（50～120 kmの範囲で調整可能）
- 認識範囲：猫、犬、牛、羊、馬、鹿、カンガルー、熊などの四足動物を含むアルゴリズム
- 状態認識：通常認識は緑色枠、衝突リスクがある場合は青色枠を表示
- 認識距離：70メートル（動物の体型により異なる場合があります）



- **雨・霧モード（初期設定：オフ）**

- オンにすると、アルゴリズムの認識精度が向上し、雨・霧時の映像鮮明度が最適化され、や路面状況の認識能力が高まります。
- オンにすると映像の滑らかさが若干低下する場合があります。晴天時や霧のない夜間はオフにすることを推奨します。
- オンにした瞬間に録画画面上で一瞬のカクつきが生じる場合は、シャッター切り替えによる正常な現象であり、機器の故障ではありません。

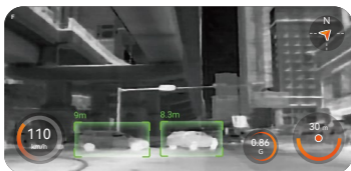


(2) AIマーク画面表示

熱映像画面において、車両、歩行者、動物などの対象物をハイライトアイコンでリアルタイムにマークし、します。これにより、道路状況を即座に把握しやすくなります。

AIマーク画面表示機能：初期設定はオン。手動でオフにできます。

AI距離：初期設定はオフ。オンにした場合、表示されるAI距離の数値は参考値であり、実際の距離と異なる場合があります。

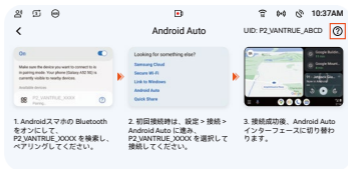


4.5 Apple CarPlay / Android Auto 接続に対応

4.5.1 Apple CarPlay / Android Auto 接続手順と注意事項

- 対応する Apple CarPlay / Android Auto 機能をオンにします。ユーザーは本体画面のガイドに従って操作を完了できます。
 - お使いのスマートフォンのBluetoothをオンにし、ドライブレコーダー本体とBluetoothペアリングを行います。
 - iPhoneユーザー：スマートフォンの「設定」→「一般」→「CarPlay」を開き、P2本体のBluetooth名を見つけてペアリング・接続を完了します。

- Androidユーザー：スマートフォンの「設定」→「接続」→「Android Auto」を開き、P2本体のBluetooth名を見つけてペアリング・接続を完了します。



※注意:

- Android Autoは現在中国国内では使用できません。
- Android Autoは主に Android 9.0 以上の全ブランドのスマートフォンをサポートしています。iOSおよびHarmonyOSは公式にはサポートされていません。
- Apple CarPlayのワイヤレス接続には、iPhone 6以降およびiOS 10以上が必要です。公式の更新情報をご確認ください。
- iPhoneがCarPlayに接続している際に、カメラなどの機能に切り替えるとCarPlayの接続が切れる場合があります。

- Android Autoの通話機能はスマートフォンの通話のみ対応しており、ドライブレコーダーのマイクやスピーカーを通じて通話することはできません。つまり、通話音声はドライブレコーダーに伝わりません。
- Apple CarPlayとAndroid Autoは、Wi-Fiがオンになっている場合にのみ使用可能で、さらに5G Wi-Fiモードでのみ動作します。
- CarPlayおよびAndroid Autoがサポートするアプリは、スマートフォンのシステム自体に関連しており、ドライブレコーダーの設定とは無関係です。
- Apple CarPlay接続時は、iPhoneのSiriがオンになっている必要があります（CarPlayはSiriに依存します）。
- Apple CarPlay または Android Auto の接続に問題が発生した場合は、該当する機能ページの右上にあるヘルプアイコンをクリックして詳細をご確認いただくか、公式カスタマーサービスにお問い合わせください。

support@vantrue.net



このアイコンを長押しすると、Siri を起動できます。

Android AutoまたはApple CarPlayをご利用中は、ショートカットボタンをタップするか、画面を下にスワイプすると、クイック設定パネルがすぐに開き、画面の明るさと音量を調整できます。



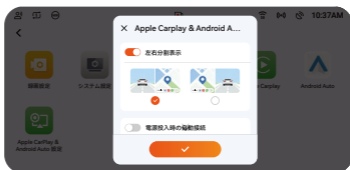
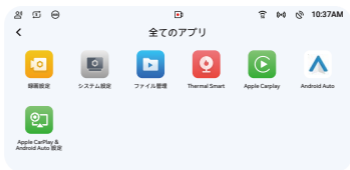
4.5.2 Apple CarPlay / Android Auto の終了方法

- ドライブレコーダーのメイン画面に戻るには、接続画面で「Exit」アイコンをタップします。再度使用する場合は、メイン画面の該当する Apple CarPlay / Android Auto アイコンをタップすると再び入ることができます。
- Apple CarPlay / Android Auto 接続を完全に切断するには、スマートフォンまたは本体のWi-Fiをオフにします。



4.5.3 Apple CarPlay / Android Auto 機能設定

- **起動時自動接続:** 初期設定はオン。オンにすると、本体起動時にペアリング済みの Apple CarPlay / Android Auto に自動接続します。
- **右ハンドルモードに切り替え:** 初期設定はオフ。オンにすると、画面表示と操作ロジックが右ハンドル運転シーンに適応します。
- **スマートフォンへ音声出力を切り替え:** 初期設定はオン。オンにすると音声スマートフォンのスピーカーから出力されます。オフにすると音声本体のスピーカーから再生されます。
- **左右分割画面表示:** 初期設定はオフ。オンにすると、ドライブレコーダーのメイン画面と Apple CarPlay / Android Auto の画面が左右に分割されて同時に表示されます。
- **ドライブレコーダーからの電話接続を解除:** 初期設定は無効です。このオプションを有効にすると、ドライブレコーダーに保存されたペアリング情報が消去されます。
 - **推奨シーン:** スマートフォンを切り替える場合、アプリの接続トラブルが発生した場合、またはデバイスのペアリングを解除したい場合に使用してください。



5. 重要な機能

5.1 ループ録画

ドライブレコーダー起動後、自動的にループ録画に入ります。録画映像はあらかじめ設定されたループ録画時間ごとに自動保存され、ループ録画映像は「ノーマル」のフォルダに保存されます。

ノーマルフォルダは総メモリ容量の70%を動的に使用します。フォルダ容量が動的総容量の70%に達すると、新しいループ録画ファイルが最も古いループ録画ファイルに自動的に上書きされます。


この機能を有効にすると、映像ファイルは自動上書きによりループ保存されるため、走行中にメモリがいっぱいになって録画が停止することを効果的に防げます。

注意:

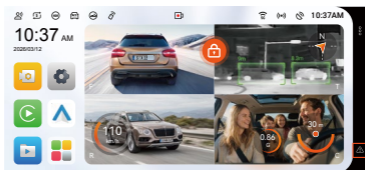
- ループ録画機能の正常な動作はメモリーカードの速度に大きく依存します。そのため、定期的にメモリーカードをフォーマットし、カード内のファイル過多やカードの劣化などがループ録画に影響するのを防いでください。
- 定期的にループ録画映像を確認し、保存しておきたい映像がループ上書きされないようにしてください。
- ループ録画をオフにすると、映像ロック機能は無効になります。ループ録画をオフにすると、1回の録画時間は20分間となり、カードがいっぱいになるまで録画した後、ドライブレコーダーは録画を停止し、「カード満杯!」というメッセージを表示します。

5.2 緊急録画

走行中に特別な状況が発生した場合、手動でロックするか、またはドライブレコーダーが自動的にロックして緊急録画を行うことができます。

手動ロック: 緊急録画ボタンを押すだけで、現在の録画をロックし、スナップショットを撮影できます。

自動ロック: 自動車が衝突や振動を検知すると、Gセンサーが振動を感知して自動的に現在の映像をロックします。



録画ロック中に緊急録画ボタンを押すと、スナップショットを撮影できます。

録画終了後、映像は自動的に緊急映像フォルダに保存され、写真は写真フォルダに保存されます。

注意:

- 自動ロックの感度は衝突感度によって決まります。「録画設定」→「Gセンサー」→「前後/左右/上下」を選択し、感度調整は「オフ/弱/やや弱低/標準/やや強/強」から選べます。
- 緊急映像ファイルの総容量は、現在のメモリーカードの動的総容量の30%を占めます。緊急映像ファイルが容量上限に達すると、新しい緊急映像ファイルは最も古い緊急映像ファイルに自動的に上書きされ

ます。定期的に確認し、重要な緊急映像ファイルは別途保存することをお勧めします。

- ロック録画は、ループ録画をオフにしている場合、または遅延録画を有効にしている場合のいずれでもトリガーされません。ループ録画をオフにして遅延録画を有効にしている場合は、写真の撮影のみ可能です。

5.3 駐車監視

駐車監視設定では、使用シーンに応じて衝撃の検知感度、切り替え方式、監視カメラ設定、駐車微光夜視、クイックスタート、駐車監視時間、ACC遅延を設定します。

操作パス：「録画設定」→「駐車監視」を選択

注意： 衝撃検知モードはデフォルトでオフになっています。使用する場合は手動で有効にしてください。




駐車監視機能を使用する際の注意事項：

- ドライブレコーダーが駐車モードを正常に使用できるように、VANTRUE直結電源ケーブル、またはその他の安定した継続的な電源を使用してドライブレコーダーに給電してください。
- ACC直結電源ケーブルはVANTRUE ACC直結電源ケーブルを使用する必要があります。他ブランドのACC直結電源ケーブルは、ACC検出PINピンの位置

が異なるため、ACC機能を使用できない場合があります。

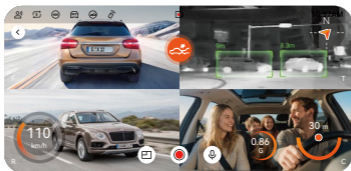
- 遅延録画と駐車衝撃検知モードはどちらか一方のみ有効にできます。一方を有効にすると、もう一方は自動的にオフになります。

5.3.1 駐車監視モード：衝撃検知

衝撃検知モードを有効にすると、録画ステータスバーに衝撃検知アイコンが表示されます。

デバイスが衝突を検出すると、選択された切り替え方式に従って自動的に衝撃検知モードに入ります。ドライブレコーダーの画面中央に衝撃検知アイコンが表示され、録画開始を示します。30秒間録画した後、また待機状態になります。

録画ファイルは自動的に「駐車映像」フォルダに保存されます。



(1) 駐車監視設定:

- (1) **検出感度:** デフォルトは標準です。ユーザーは必要に応じて衝撃検知感度レベルを設定できます。感度が高いほど、駐車衝撃のトリガーがより敏感になります。

(2) 移行トリガー:

a) 自動モード (デフォルト)

- ACC未接続時 (Gセンサーモード) : 車両停止後5分経過で自動起動; Gセンサーが2回目の衝突を検出すると自動終了。
- ACC接続時 (ACCモード) : 車両エンジン停止 (ACCオフ) 後自動起動; 車両始動 (ACCオン) で自動終了。

b) ACC連動

- ACC直結電源ケーブルを正しく取り付け電源を接続すると、車両エンジン停止 (ACCオフ) 後自動起動; 車両始動 (ACCオン) で自動終了。

c) G-センサー

- Gセンサーを使用して駐車監視の起動と終了を制御します。車両停止後5分経過で自動起動; Gセンサーが2回目の衝突を検出すると自動終了。

※注意:

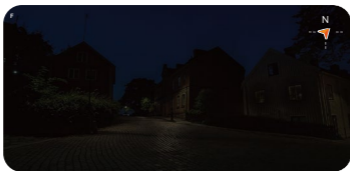
- ACC線を接続しても正常にトリガーできない場合は、Gセンサーモードに切り替えてください。
- ACCエンジン停止時に駐車監視衝突モードをトリガーする場合、デフォルトでは即時起動となります。ACC起動時間を遅延させたい場合は、「録画設定」→「駐車監視」→「ACC遅延」で起動時間を設定してください。



(3) 駐車監視範囲: フロント、車内、リア。デフォルトは全てオンです。それぞれ個別のカメラにオン/オフを設定できます。

(4) 駐車低照度暗視

夜間の駐車安全性を高めるために、レンズ性能と微光夜視技術を組み合わせることで、駐車モードでの夜間視認性を向上させています。この機能はデフォルトでオンになっています。駐車モードに入った後にのみトリガーされ、通常録画に影響を与えることはありません。



駐車低照度暗視オフ



駐車低照度暗視オン

(5) 衝撃検知モード

ユーザーの実際の使用ニーズに応じて、衝撃検知には2つのモードから選択できます：クイックスタートモード（デフォルト）と省電力モード。

- **クイックスタートモード：** デバイスは画面消灯の待機状態に入り、衝突発生時に即座に画面を点灯して録画します。イベントの完全性を維持でき、録画完了後にファイルを保存して再びスリープ状態になります。
- **省電力モード：** デバイスは完全にシャットダウンし、衝突を検出すると自動的に起動して録画します。録画完了後にファイルを保存してシャットダウンし、より省電力です。

(6) 駐車監視時間： ユーザーの実際の必要時間に応じて、バッテリー給電時間を自由に設定し、自動車の正常な始動に影響を与えないようにできます。デフォルトは無制限、または1～100時間まで設定可能です。

(7) ACC遅延： ユーザーの実際の使用ニーズに応じて、駐車監視モードへ起動する時間を自由に設定し、エンジン停止駐車時に誤って駐車監視機能がトリガーされるのを減らせます。デフォルトは即時起動、または1～30分まで設定可能です。

5.4 走行距離統計

P2ドライブレコーダーの走行距離統計はデフォルトでオンになっています。ユーザーの運転時間、走行距離、標高、走行速度などの情報を記録します。ユーザーはアプリを介して走行距離ファイルをエクスポートできます。アプリのリアルタイムプレビュー画面で、該当する期間を選択してクエリし、確定後PDFまたはJPGファイルとしてダウンロードし、アプリローカルに保存されます。



開始時間	20260506 00:00:00
終了時間	20260506 23:59:59
休憩時間	01:36:39
運転時間	04:07:53
総時間	05:43:52
開始標高	11.4M
終了標高	87.4M
最低標高	-33.4M
最高標高	142.2M
平均速度	57.82KM/H
最高速度	85.12KM/H
総走行距離	217.25KM
開始位置	N 22.648829 E 114.009407



開始時間	20260506 00:00:00
終了時間	20260506 23:59:59
休憩時間	01:36:39
運転時間	04:07:53
総時間	05:43:52
開始標高	11.4M
終了標高	87.4M
最低標高	-33.4M
最高標高	142.2M
平均速度	57.82KM/H
最高速度	85.12KM/H
総走行距離	217.25KM
開始位置	N 22.648829 E 114.009407

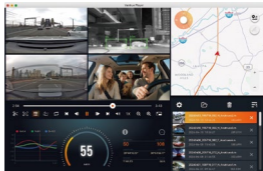
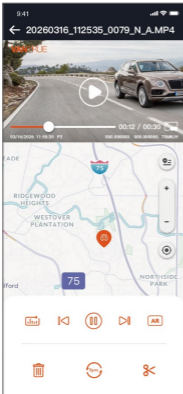


5.5 GPS設定

5.5.1 GPS機能

GPS機能もドライブレコーダーの重要な機能の一つです。GPSは初期設定でオンになっており、GPSに基づいて、ユーザーがいる地域の日時を自動更新し、動画の録画場所や車速情報を記録します。

GPS情報は録画した動画内に記録されます。確認するには、VantrueアプリとVantrueプレーヤーをダウンロードしてインストールしてください。



※注意:

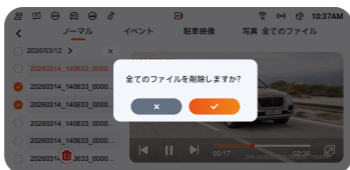
- GPSは電源投入後1分以内に接続します。1分経過しても接続できない場合は、GPS機能がオンになっているか、GPSマウントが正しく接続されているか、また周囲の環境（地下駐車場、建物の密集した住宅地、地下、トンネルなど）を確認してください。これらの場所はGPS信号の受信に影響を与える可能性があります。

5.6 再生・ファイル削除の方法

(1) P2本体での操作

動画再生： ファイルブラウザに入り、任意のフォルダを選択して開き、動画ファイルを選んで再生します。

「Select」をタップして該当動画を選択し、削除することも可能です。

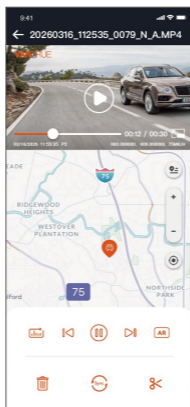


(2) PCでの再生・削除

SDカードをカードリーダーに入れてPCに接続し、該当ファイルを表示、再生、削除できます。

(3) Vantrueアプリ内での再生・削除

レコーダーをWi-Fiでスマホに接続後、アプリ内のカメラフォルダでファイルの再生、ダウンロード、削除が可能です。



※注意:

- アプリ内でMicro SDカード内のファイルを再生・ダウンロードする際、データ通信量は消費しません。
- 動画ファイルをローカルにダウンロードし、スマホのアルバムに同期してから再生すると、GPS軌跡情報を確認できます。ただし、その際はレコーダーのWi-Fiを切断する必要があります。切断しないと地図情報が空白で表示されます。

(4) Vantrue Playerを使用する方法

Vantrue Playerは動画再生、GPS軌跡表示、速度表示などの機能を備え、より高品質な動画体験を提供します。詳細は完全版の電子説明書をご参照ください。

- **Windowsユーザー:** Vantrue公式サイト <https://www.vantrue.com/pages/vantrue-app-player> からダウンロード。
- **Macユーザー:** Apple App Storeで「Vantrue Player」を検索しダウンロードしてください。

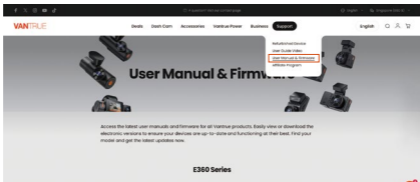


5.7 ドラレコ本体のバージョンアップ

方法1: ファイルによるアップデート

- ① VANTRUE公式サイトから最新のP2ドライブレコーダー用ファームウェアをダウンロードしてください;

<https://www.vantrue.com/pages/user-manual-firmware>



- ② 対応するVT_P2.binファイルをメモリーカードのルートディレクトリに保存してください。



- ③ その後、メモリーカードを本体に再挿入し、電源を入れて、アップデートを実行してください。



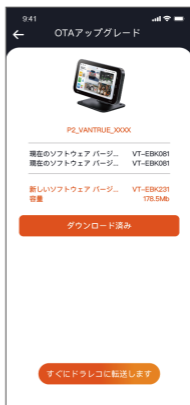
方法2: OTAによるアップデート（アプリ経由）

ユーザーがアプリを開くと、レコーダーソフトウェアのアップデート通知が表示されます。更新を確定するとOTAアップデート画面に遷移し、アプリの案内に従ってアップデートできます。

アップデート時の注意事項:

- ファイルアップデート、OTAアップデートのいずれの場合も、アップデート中はP2レコーダーに正常に電源が供給されている状態を保ってください。
- OTAアップデートでのアップデートファイルのダウンロードにはデータ通信量が発生します。
- ファイルアップデートを行う場合、P2レコーダー本体でSDカードをフォーマットしてから、アップデートファイルをSDカードに入れてアップデート手順を実行してください。





6. 仕様

製品体験向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

型番	P2
チッププロセ	デュアルコア高性能プロセッサ ッサ
画像センサー	Sony Sensor
Gセンサー	内蔵3軸センサー
モニター画面	6.25" IPS
撮影角度	フロント158° / 車内160° / リア 165°
F値	フロントF1.8 / 車内F2.0 / リア F1.8
言語	英語、簡体字中国語、繁体字中 国語、日本語、ドイツ語、フラ ンス語、イタリア語、スペイン 語、ロシア語、ポーランド語、 韓国語、トルコ語、チェコ語
解像度	フロント： 2560x1440P、 1920x1080P、1280x720P 車内： 1920x1080P、 1280x720P リア： 2560x1440P、 1920x1080P、1280x720P
動画形式	MP4
オーディオ	内蔵マイク・スピーカー
記録媒体	Micro SDカード（32GB～1TB対 応）

USBタイプ	Type-C
供給電流	スーパーキャパシタ
動作電力	DC 5V 3A
電力消費	14W
動作温度	-20°C ~ 60°C
保管温度	-25°C ~ 70°C

7. アフターサービス

VANTRUEブランドの保証期間は12か月です。ご質問がございましたら、以下の方法でお問い合わせください。専門スタッフが12~24時間以内に返信いたします。

- ① Vantrueアプリを開き、「私」→「よくある質問」または「お問い合わせ」
- ② お買い上げ先のカスタマーサポート
- ③ VANTRUE公式メールアドレス
support@vantrue.net まで

VANTRUE®をお選びいただきありがとうございます。

8. よくある質問

Q1. 起動できない / 自動再起動する

- 電源ケーブルや充電ポートがしっかり差し込まれているか確認してください。別の充電ケーブルや充電ポートでお試してください。
- 仕様を満たす高速メモリーカードに交換し、カード異常による再起動を除外してください。
- 直結電源ケーブルを使用している場合は、配線が正しいこと、ヒューズが正常であることを確認してください。

Q2. 録画しない / カードエラーと表示される

- U3、Class10の高速メモリーカードをご使用ください。推奨容量は32GB～1TBです。当社純正品のVANTRUE mciroSDカードをすすめます。
- ドライブレコーダーの設定内でメモリーカードをフォーマットしてください。パソコンでのクイックフォーマットは使用しないでください。
- カードの容量が満杯になっています。早めに動画ファイルを削除または保存してください。

Q3. アプリへの接続に失敗する

- ドライブレコーダーのWi-Fiがオンになっているか確認し、スマートフォンから再度デバイスのWi-Fiに接続してください（操作ガイドに従って接続します）。

Q4. 録画ファイルがない / 動画が消えた

- 通常動画は自動的にループ上書きされます。重要な動画は早めに保存してください。
- メモリーカードが正常であること、書き込み保護されていないこと、プライバシーモードがオフであることを確認してください。

Q5. リアカメラの映像が表示されない

- リアカメラのケーブルと端子がしっかり差し込まれており、破損がないか確認してください。
- 純正のリアカメラケーブルをご使用ください。非純正ケーブルは互換性がない場合があります。
- 機器を再起動し、それでも異常がある場合はアフターサービスにお問い合わせください。

Q6. 駐車監視が動作しない / 録画しない

- 直結電源ケーブルが常時電源、ACC、アースに正しく接続されているか確認してください。
- ドライブレコーダーで駐車監視がオンになっていることを確認してください。
- ACC配線が正しく、エンジンオフ信号を検出できるか確認してください。

Q7. 時刻が合わない

- GPS自動更新をオンにするか、手動で更新してください。

Q8. GPSが位置を特定できない

- 屋外の開けた場所でご使用いただき、遮蔽や干渉を避けてください。
- 設定内でGPS機能がオンになっていることを確認してください。

Q9. サーマルカメラはなぜ車外に取り付ける必要があるのですか？

- サーマル技術は8～14 μ mの長波長赤外線帯域で動作し、ガラスを透過しません。そのため、サーマルカメラは車外（推奨：ボンネット中央）に取り付ける必要があります。
- サーマルカメラは防水、防塵、砂石に対する耐性を備えており、ほとんどの運転シーンに対応します。（注意：-20℃～70℃の環境温度でご使用ください。）

Q10. サーマル技術には放射線の危険がありますか？

- サーマル技術は物体が放出する熱情報を受動的に取得するのみで、自ら放射線を発することはありませので、安心してご使用いただけます。

Q11. 動作中に画面が一瞬止まるのはなぜですか？

- サーマル技術の特性上、安定した映像を得るためにレンズは定期的にシャッター更新を行う必要があります。
- サーマルカメラ内蔵のシャッターが自動的に更新を実行します。更新の瞬間、画面が一瞬停止し「カチッ」という音がしますが、これは正常な動作です。

Q12. 雨天時に画面がぼやけるのはなぜですか？

- 雨粒が赤外線の熱を吸収・散乱させるため、サーマルの探知効果に影響し、画質が低下します。
- サーマルカメラの「雨・霧モード」をオンにすると、シャッター更新頻度が上がり、雨天時の映像効果が改善されます（注意：豪雨時は適用外です）。
- レンズ表面に泥や砂などの異物が付着していないか確認してください。

9. 安全情報

重要な安全警告

ご自身と他の方の安全のため、本レコーダーを取り付け・使用する前に、以下のすべての安全情報をよく読み、遵守してください。正しい操作により、デバイスの最適な性能を確保し、危険、人身傷害、または物的損害を回避できます。

運転安全（最優先事項）

- 車両運転中の最優先の責務は安全運転です。走行中にレコーダーの画面を操作しないでください。注意が散漫になり事故を引き起こす恐れがあります。
- レコーダーの設定、調整、再生の確認などは、車両発進前または安全な場所に停車した後に行ってください。

電子機器

- 無線機器の使用が明示的に禁止されている場所では、本デバイスを使用しないでください。他の電子機器に干渉したり、その他の危険を引き起こす可能性があります。

引火性・爆発性エリア

- ガソリンスタンド、化学工場、または引火性・爆発性ガスが存在する可能性のある場所では、レコーダーの操作を厳禁とします。
- デバイスおよびその付属品を、引火性液体、ガス、または爆発性物質と同じ箱に保管または輸送しないでください。

交通安全

- 安全運転が最優先の責務であることを忘れず、注意散漫になる活動を行わないでください。
- 電子機器は電波干渉によって誤作動を起こす可能性があります。詳細についてはメーカーにお問い合わせください。

操作環境

- 本レコーダーは防水仕様ではありません。雨水や液体がかかる可能性のある場所には取り付けないでください。
- 本デバイスは -20°C ～ 60°C の環境温度で使用し、 -25°C ～ 70°C の環境温度で保管してください。環境温度が高すぎたり低すぎたりすると、製品の故障を引き起こす可能性があります。
- レコーダーは、運転手の視界を遮らない位置に取り付けてください。走行中に外れないようしっかり固定されていることを確認してください。

子どもの安全

- レコーダーおよびすべてのケーブル、付属品は、子どもやペットの手の届かない場所に保管してください。小さな部品は窒息の危険があります。電池を誤って飲み込むと化学やけどを引き起こす可能性があります。

アクセサリ要件

- 認可されていない、または互換性のない電源、充電器、バッテリーを使用しないでください。火災、爆発、またはその他の危険を引き起こす可能性があります。

バッテリーの安全

- 本レコーダーのシステムクロックには小型リチウムイオンバッテリーが使用されています。不適切な取り扱いには危険を招く可能性があるため、以下の要件を厳守してください。
- 本デバイスはバッテリーを取り外せません。デバイスを分解、圧迫、または穴を開けないでください。
- バッテリーを高温や発熱機器（直射日光、ヒーター、電子レンジ、オーブン、給湯器など）の近くに置かないでください。バッテリーが過熱すると爆発する可能性があります。
- バッテリーを極めて低い気圧の環境に置かないでください。バッテリーが爆発したり、可燃性液体やガスが漏れたりする可能性があります。
- バッテリーを分解・改造したり、異物を挿入したり、水やその他の液体に浸したりしないでください。バッテリー液漏れ、過熱、火災、爆発を引き起こす恐れがあります。
- バッテリーが液漏れした場合、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。皮膚や目に付着した場合は、すぐに清水で洗い流し、医療処置を受けてください。
- バッテリーを火の中に捨てないでください。火災や爆発を引き起こします。
- 損傷したバッテリーは使用しないでください。
- デバイスは現地の法規に従って処分し、一般ゴミとして廃棄しないでください。

メンテナンスとお手入れ

- デバイスおよびその付属品に強い衝撃、振動、擦り傷、硬い鋭利な物との接触などを与えないでください。デバイスや付属品が損傷し、故障の原因となります。

- 清掃する前は電源を切ってください。柔らかく乾いた糸くずの出ない布でレンズと本体を軽く拭いてください。化学薬品入りのクリーナーは絶対に使用しないでください。
- デバイスやケーブルを分解または改造しないでください。保証が無効になります。修理が必要な場合は、Vantrue公式カスタマーサポートにお問い合わせください。
- デバイスが湿気を帯びた場合は、電源を切り、風通しの良い場所で自然乾燥させてください。電子レンジ、ヘアドライヤーなどの外部熱源を使用して加熱しないでください。
- デバイスおよびその付属品を清潔で乾燥した状態に保ってください。

環境保護

- 本デバイスを一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
- お住まいの地域の電子廃棄物リサイクルに関する法令を遵守し、環境保護リサイクルにご協力ください。

デバイスのネットワーク接続について

- 本製品はローカルLAN通信のみをサポートし、インターネットに接続したり、外部ネットワークに接続したりすることはありません。外部ネットワークへのデータアップロードやリモート外部ネットワークアクセス機能はありません。

工場出荷時設定へのリセットについて

- 工場出荷時設定にリセットすると、デバイスのすべてのカスタム設定およびメモリーカード内のデータが消去され、デバイスは出荷時の状態に戻ります。慎重に操作してください。

プライバシーに関する声明

- 本デバイスはユーザーの個人情報を一切収集、アップロード、漏洩しません。すべての設定とローカルデータはデバイス内にのみ保存され、バックグラウンドでの収集やアップロードは行いません。

VANTRUE
truly driven.



CE



IC



FC

✓
RoHS



www.vantrue.com

Made in China